

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公表番号】特表2007-513425(P2007-513425A)

【公表日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2006-542588(P2006-542588)

【国際特許分類】

G 06 F 11/34 (2006.01)

G 06 F 11/28 (2006.01)

【F I】

G 06 F 11/34 L

G 06 F 11/28 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月31日(2007.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イベント群を時間順序付けするシステムであって、

複数の機能回線モジュール群と、各機能回線モジュールが、異なる時間領域を表すクロックによりクロック制御されており、タイムスタンプ処理回路を有しており、前記タイムスタンプ処理回路が所定のイベントが発生した時点を示すメッセージを供給し、

前記複数の機能回線モジュール群の各々に結合されたインタフェース・モジュールとを備え、前記インタフェースモジュールが、前記所定のイベントをトリガする少なくとも一つの動作条件を示す為に前記複数の機能回線モジュール群に制御情報を供給し、第1の時間領域を含む複数の時間領域群の一つで前記所定のイベントが発生したとき、前記インタフェースモジュールが前記第1の時間領域から少なくとも一つのタイムスタンプ処理メッセージを受信する、システム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムであって、前記インタフェース・モジュールが、

前記制御情報を、前記所定のイベントをトリガする前記少なくとも一つの動作条件を決定するプログラマブル制御情報として保存する記憶回路を更に備えたシステム。

【請求項3】

請求項2に記載のシステムであって、前記所定のイベントをトリガする前記少なくとも一つの動作条件が、電力の動作モードに入ること又はこのモードから出ることと、クロックのソースの変化と、クロックの周期性の変化と、ハードウェアのカウンタ値の所定の変化と、デバッグの動作モードになること及びこのモードから出ることと、少なくとも一つのユーザプログラマブルイベントの発生とのうち、少なくとも一つを更に含むシステム。

【請求項4】

請求項1に記載のシステムであって、前記タイムスタンプ処理回路が、

対応する機能回線モジュールの絶対時間又は相対時間のどちらか一方を決定する為のカウンタと、

時間領域識別子を供給する時間領域識別回路と、

前記対応する機能回線モジュールのクロックの一つ以上の動作特性をもたらすクロック

状態回路と、を更に備えたシステム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のシステムであって、前記タイムスタンプ処理回路が、対応するメッセージに含まれている情報のフォーマットを識別する為に各メッセージに含められるコードを生成する回路を更に備えたシステム。